

Newタイプ

弾性発泡ウレタン

HT-Foam 250Blue



かかってない
接着・追従性

- 断熱・接着・気密シール
- 窓枠、扉、サッシュ周りの隙間充填
- 配管貫通部の周りの隙間充填
- 電気配管の止水、隙間充填
- 床・壁材の接着や固定
- スタイロフォームの隙間充填
- 貫通部のバックアップ材として



新色ブルーカラー

断熱・気密効果の維持

 HERMETIC



■ 環境対応ノンフロン品



優れた柔軟性・気密効果の維持

従来の簡易型発泡ウレタンフォームの常識をはるかに超えた弾性フォームで硬化後のフォームが破壊しにくくなります。弾性力の維持により気密性能が従来品よりも維持できます。

優れた追随性

- 構造体の動きに追随するので硬化後のフォームが接着面から剥離したり破壊することがなく断熱、気密効果が発揮されます。(木材や金属の収縮など)
- 線膨張の異なる箇所の隙間充填にも追随します。
- 窓枠とサッシの隙間を柔軟に充填し、経時による変形にも追随し窓枠の下地やサッシを傷めることがありません。

業界初ブルーフォーム

スタイロフォームの隙間の補修にも最適です。

異なった面材でも優れた接着力

2タイプノズルの付属で抜群の施工性

■ 接着力試験

材 質	接着強度(kgf/cm ²)
合 板	3.0
コンクリート板	3.0
硬質塩ビ板	3.2
アルミ板	3.1
ケイカル板	1.5
鉄 板	3.2

■ 弾性フォーム



製 品 名	入 数
HT-Foam 250 Blue	500ml ケース 12本入り

■ 250ブルー 物性表

項 目	試験方法	測定値
発泡容積	—	約17~20ℓ
タックフリータイム	—	約15分
吐出後の発泡倍率	—	約2倍
耐寒・耐熱性	—	-30~70℃
フォーム密度	JIS A9511	33kg/m ³
引張強度	JIS A9511	0.17N/m ²
伸 び	JIS A9511	52%
引裂き強度	JIS A9511	7N/cm
独立気泡率	空気比較式比重計	57%
熱伝導率	JIS A9511	0.033W/mk
通 気 量	JIS A9511	0.3co/cm ² /sec
燃焼性試験(自己消火性)		合格
燃焼時間(120秒以内)	JIS A9511	43
燃焼距離(60mm以内)		34

使用方法及び使用上の注意

- 使用する前に、缶を上下によく振って下さい。
- 寒い所でご使用の際は、40℃未満のぬるま湯でゆっくり温めて下さい。缶の温度は20~25℃が最適です。
- パーナー、ストーブ、熱湯、沸かしながらのお湯などでは缶が破裂することがあるので絶対に温めないで下さい。
- キャップだけを持つと、本体が落下する恐れがあるので注意して下さい。
- 保護キャップを取り、バルブに付いている黒いガスリーク防止キャップを取外し、アダプターを缶のバルブに取付けて下さい。
- アダプターは目的にあったものをご使用下さい。
- 缶を倒立し、アダプターを押したときの力加減でフォームが吐出し、吐出速度が調整できます(倒立使用)。
- 吹き付けたフォームを吹き飛ばさない程度の距離を保って吹き付け作業を行って下さい。
- 粘着性がありますので、施工する場所以外に付着しないように、フィルム等で被覆保護して下さい。また、硬化するまでフォームに触れないで下さい。
- 人体や施工箇所以外の方向に向けて吐出ししないで下さい。また、硬化するまでフォームに触れないで下さい。
- フォームが吐出しない場合は、バルブを無理に押したり、缶に穴を開けないで、発売元に問い合わせして下さい。
- 吐出口が目詰まりを起こすので使用し始めたらすみやかに最後まで使いきって下さい。
- 有効期限が缶底に明記してあります。それ以前に使い切ってください。

応急措置

- 眼に入った場合は、すぐに水で少なくとも15分以上洗浄のうえ医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付いた場合は、すぐに水で洗浄して下さい。
- 蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合は、すぐに医師の診察を受けて下さい。

資料をご請求下さい。



株式会社 ヘルメテック

営業本部
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-24-11
TEL:03-3200-7289 FAX:03-3208-8234
Email: accountmaster@hermetic.co.jp
ホームページ <http://www.hermetic.co.jp>